



三木露風「春と修羅」称賛

研究してほしい」と強調する。ないものの、露風は自分が送

賢治は1924年に生前唯一の詩集「春と修羅」を出版

した。当時露風は北海道上磯郡茂別村(現・北斗市)のト

ラピスト修道院の講師を務め

ていた。

賢治からの贈呈本、露風か

らの返信とともに確認され

いる。

返信は「春と修羅」と書面

を喜んで受容するとの書き出

し。「(同書)序文中に於て

品名を挙げてたえている。

現在日本大通信教育研究所

研究員の近藤元教授は三木露

京都が、露風の直筆ノート

の中に返信の「控え」を見つ

け交流が明らかになった。

中央にほとんど知られることの

なかつた賢治を露風が評価し

たことが分かる。重要な資料

だ。これを機に2人の文学的

関わりや、作品の影響関係を

自分といふ者が現象で電流体
の青き照明であると觀られて
ゐることに就て私は善い賞讃
を惜まぬ者であり」と理解を

示し、続けて「屈折率、くら
かけの雪、日輪と太市等の詩
はいづれも善い詩情を有つて
ゐるものと思ひます」と、作

者だけではないだろう。観
音井円加は、ローザ
ンサーが集い、全8公演、
古典から現代作品まで計23
演目を上演した。(8月13日)

「ゼンツアーノの花祭り」
は、いつにも増して盛大だ
ったのだ。

「ゼンツアーノの花祭り」
は、コロナ禍が世界に拡大

した昨春以降、初めてのこ
とに軽やか。ショットガ

・パ・クラシック」
な「シャル・ウイー

ス?」を踊りこなす

の表現者へと成長を

3年に一度、東京で開か

れた祭典「世界バレエフェ

スティバル」。海外の名門

バレエ団から総勢23人のダ

ンサーが集い、全8公演、
古典から現代作品まで計23

演目を上演した。(8月13日)

「ゼンツアーノの花祭り」
は、いつにも増して盛大だ
ったのだ。

現在日本大通信教育研究所

研究員の近藤元教授は三木露

京都が、露風の直筆ノート

の中に返信の「控え」を見つ

け交流が明らかになった。

中央にほとんど知られることの

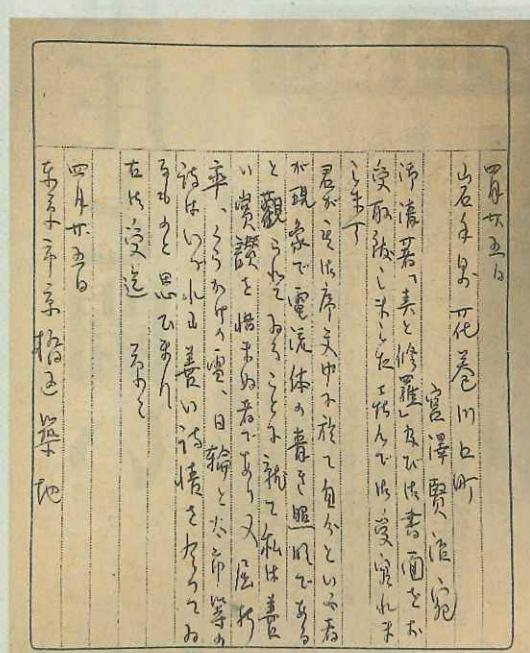
なかつた賢治を露風が評価し

たことが分かる。重要な資料

だ。これを機に2人の文学的

関わりや、作品の影響関係を

本贈呈受け賢治に返信 「控え」発見、交流明らかに



三木露風が残した、「春と修羅」贈呈への
返信の控え(写真は2枚とも霞城館提供)

公正さと革新性希求

富山妙子の画家人生と作品を
貫くのは公正さへの希求と革新
性であった。30年の交流から得
た私の確信である。交流の契機
た。記事は1988年10月に口

終わりの(2016年)

さんを悼む

萩原弘子

は、英リーズ大で美術史家グリ
ゼルダ・ポロックが見せてくれ
たガーディアン紙の記事だつ
た。記事は1988年10月に口

終わりの(2016年)

5年後には富山に誘われて美術

史研究の現在を批判する共著作

を出した。それと「集積石碑

富山妙子の表現活動の特徴

は、第一にテーマの社会・政治

に依存した富山は、作品

の制作と展示をし、作品を

見ただけでは何をどう表現するかと
いう、真摯な追究もよくわかつた。

その翌年から交流が始まり、

1951年神奈川県生まれ。専門は芸術思想史、

移民文化論。主な著書に「ブラック

「この胸の嵐」。訳書に「女・アーティスト・イデオロギー」など。

はぎわら・ひろこ 1951年神奈川県生まれ。専門は芸術思想史、

移民文化論。主な著書に「ブラック

「この胸の嵐」。訳書に「女・アーティスト・イデオロギー」など。

投獄された詩人、金芝河に触発

された「しばられた手の祈り」

や詩画集「深夜」などの仕事が

創作した「赤とんぼ」から3

年後の出版。賢治は露風の活

躍に注目していたのだろう。

露風記念の年に、近代文学に

輝く2人の交流を発見するこ

とができる、大変うれしい」と

喜ぶ。



世界バレエフェスティバルの「ゼンツアーノの花祭り」(©Kiyonori Hasegawa)



祝賀感あふれる世界フェスティバル会場
II 東京都台東区の東会館

輝く才能に酔いしれ
世エスバレエ 東京開催、胸熱く

「オネギン」より
「エスバレエ」

3年に一度、東京で開か
れた手紙などの内容を詳細に
記録しており、今回の控えも
その一つ。花巻の賢治宛ての
手紙などを同年4月25日となつて
日付は同年4月25日となつて
と修羅贈呈本に対して返信
と修羅贈呈本に対して返信
し、称賛の言葉を伝えていた
ことが分かった。これまで両
者のやりとりは知られていいな
かった。

兵庫県龍野町(現たつの市)
出身で、童謡「赤とんぼ」の
作詞者として知られる詩人・
三木露風(1889~1964)が、宮沢賢治から「春
と修羅」贈呈本に対して返信
し、称賛の言葉を伝えていた
ことが分かった。これまで両
者のやりとりは知られていいな
かった。

洋野町出身の近藤健史(元日

本大通信教育部教授(68)・東

京都)が、露風の直筆ノート

の中に返信の「控え」を見つ

け交流が明らかになつた。中

なかつた賢治を露風が評価し

たことが分かる。重要な資料

だ。これを機に2人の文学的

関わりや、作品の影響関係を

研究してほしい」と強調する。ないものの、露風は自分が送

賢治は1924年に生前唯一の詩集「春と修羅」を出版

した。当時露風は北海道上磯

郡茂別村(現・北斗市)のト

ラピスト修道院の講師を務め

ていた。

賢治からの贈呈本、露風か

らの返信とともに確認され

て、(同書)序文中に於て

品名を挙げてたえている。

現在日本大通信教育研究所

研究員の近藤元教授は三木露

京都が、露風の直筆ノート

の中に返信の「控え」を見つ

け交流が明らかになつた。

なかつた賢治を露風が評価し

たことが分かる。重要な資料

だ。これを機に2人の文学的

関わりや、作品の影響関係を

研究してほしい」と強調する。ないものの、露風は自分が送

賢治は1924年に生前唯一の詩集「春と修羅」を出版

した。当時露風は北海道上磯

郡茂別村(現・北斗市)のト

ラピスト修道院の講師を務め

ていた。

賢治からの贈呈本、露風か

らの返信とともに確認され

て、(同書)序文中に於て

品名を挙げてたえている。

現在日本大通信教育研究所

研究員の近藤元教授は三木露

京都が、露風の直筆ノート

の中に返信の「控え」を見つ

け交流が明らかになつた。

なかつた賢治を露風が評価し

たことが分かる。重要な資料

だ。これを機に2人の文学的

関わりや、作品の影響関係を

研究してほしい」と強調する。ないものの、露風は自分が送

賢治は1924年に生前唯一の詩集「春と修羅」を出版

した。当時露風は北海道上磯

郡茂別村(現・北斗市)のト

ラピスト修道院の講師を務め

ていた。

賢治からの贈呈本、露風か

らの返信とともに確認され

て、(同書)序文中に於て

品名を挙げてたえている。

現在日本大通信教育研究所

研究員の近藤元教授は三木露

京都が、露風の直筆ノート

の中に返信の「控え」を見つ

け交流が明らかになつた。

なかつた賢治を露風が評価し

たことが分かる。重要な資料

だ。これを機に2人の文学的

関わりや、作品の影響関係を

研究してほしい」と強調する。ないものの、露風は自分が送

賢治は1924年に生前唯一の詩集「春と修羅」を出版

した。当時露風は北海道上磯

郡茂別村(現・北斗市)のト

ラピスト修道院の講師を務め

ていた。

賢治からの贈呈本、露風か

らの返信とともに確認され

て、(同書)序文中に於て

品名を挙げてたえている。

現在日本大通信教育研究所

研究員の近藤元教授は三木露

京都が、露風の直筆ノート

の中に返信の「控え」を見つ

け交流が明らかになつた。

なかつた賢治を露風が評価し

たことが分かる。重要な資料

だ。これを機に2人の文学的

関わりや、作品の影響関係を

研究してほしい」と強調する。ないものの、露風は自分が送

賢治は1924年に生前唯一の詩集「春と修羅」を出版

した。当時露風は北海道上磯

郡茂別村(現・北斗市)のト